ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

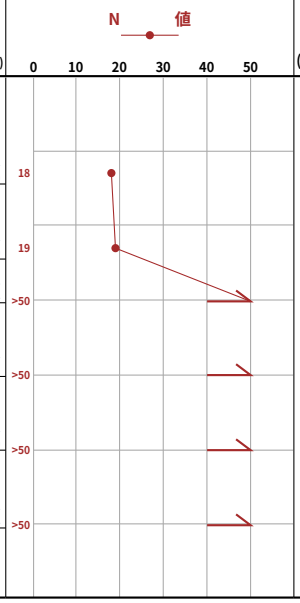
シートNO.

ボーリング名	No.B-4(G201)	調査位置				北　緯	36 ° 54 ' 55.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2009-07-15 ～ 2009-07-16	東　経	139 ° 32 ' 24.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	89.54 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 40.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	6.04 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	89.04	0.50	0.50		礫混じり粘土 (CH-G)	褐灰			φ2～20mm程度の角礫・粗砂が混じる。		
1					強風化凝灰岩 (Tf)	暗灰			φ20～70mm程度の捕獲礫を含む。基質部は軟質で、手で崩せる。		
2	86.94	2.10	2.60								
3					凝灰岩 (Tf)	明灰～暗灰			φ5～30mm程度の捕獲礫が多く混じる。長柱状コアとなるが、5.27～5.53mは砂状で、コアは掘削水とともに流失する。亀裂面は密着している。		07/15 3.04
4											
5											
6	83.50	3.44	6.04								07/16 6.04

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	7	6	5	18／30	18
1.45					
2.15	4	6	9	19／30	19
2.45					
3.00	50／4			50／4	>50
3.04					
4.00	50／2			50／2	>50
4.02					
5.00	50／0			50／0	>50
5.00					
6.00	50／4			50／4	>50
6.04					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/15
						07/16